

# よこすか育成通信

41号

2026年9月30日発行

題字：上地克明市長

思いがけないご推薦に戸惑いもありましたが、皆さまの気持ちに沿うべく、微力ながら務めてまいります。

昨年度、青少年育成推進員制度発足から20年を迎えました。先輩方が積み重ねてこられた活動とその歩みは、横須賀の青少年育成を支える大きな力となっています。長年にわたり会長としてご尽力いただいた織田前会長に、改めて深く敬意を表します。

## 新たな体制、新たな活動 2026年度新役員メッセージ

会長 藤本 孝司

(田浦中学校区)



近年、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、地域の繋がりがや大人の関わり方がこれまで以上に問われています。青少年の健全育成や非行防止には、家庭・地域・学校が連携し、地域ぐるみで取り組むことが欠かせません。青少年育成推進員の皆さまは、その繋がりをつくる役割を担う存在です。

新たに青少年育成推進員になられた皆さまは、それぞれの研究部会で活動に取り組んでください。また、継続して活動される皆さまには、これまでと変わらぬご協力をお願いするとともに、引き続き温かい支えをいただければ心強く思います。

副会長 菅原 宏治

(公郷中学校区)



活動するためには健康でいることも大事だと思います。皆さんと一緒に有意義で楽しい青少年育成活動を続けていきたいと願っております。

庶務 小牧 優子

(大津中学校区)



前期は会計を務めさせていただきました。今期は新体制のもと、庶務としてしっかり役割をこなしていきたいと思います。

庶務 高橋 牧生

(大矢部中学校区)



皆さまが円滑に活動を進められるようサポートしていきたいと思っています。



会計 武田 昌代

(鴨居中学校区)



至らない点もあるかと思いますが皆様のご協力をいただきながら活動がスムーズに進むよう努めてまいります。

会計 大庭 辰晃

(常葉中学校区)



会計担当として青少年育成推進員連絡協議会の活動が円滑に行えるよう努めてまいります。

監査 織田 俊美

(追浜中学校区)



昨年度まで会長職を5期10年努めさせていただきました。今後は監査の立場で微力ではありますが支援できればと思っています。

育成研究部会長

角谷 勝彦

(鴨居中学校区)



恒例の中学校対抗ウォークラリーは、学校関係の方、地域の方、青少年育成推進員の方のご協力を得て、全力で取り組みたいと思っています。

広報研究部会長

飯田 功

(岩戸中学校区)



青少年育成推進員の活動をより多くの人たちに理解をしていただくためにも、子どもの目線で見分りやすく伝えていきます。

## 横須賀・三浦地域青少年指導員セミナー



て欲しいのか、目標を明確にして活動するのが大切とのこと。

そして子どもたちの考えを聴く、ほめて認めてあげる。結果、

子どもたちの考えを尊重することでフラットな関係を持ち、監視するのではなく見守ることが大切だと教わりました。

未成年とは何か、子どもと言っても一人の人間、分かっている大人の見解を通そうとしてしまうこともあります。今回学んだことを今後の活動に活かして行けるようにします。

(大矢部・浅尾 明利)

令和8年5月23日横須賀合同庁舎において県青少年センター育成課職員を講師として横須賀市、鎌倉市、三浦市、逗子市、葉山町から27名の参加で行われました。

今年度は『みんなで創る地域の活動』アイスブレイキング体験と関係づくりのためのワークショップ』をテーマとし、複数の初対面の人がいる場所での固い雰囲気や壊す手段を身に付けるゲーム、クイズ及び運動で初参加や緊張している人でも、自然に心を開き参加者が気軽に意見を出し合える雰囲気づくりを学びました。

まずは子どもたちにどうなっ



前半は「出会いのゲーム」と知り合うゲーム」を通じて初めて会う人との関わり方を学びました。

後半では少人数でのグループ

に分かれて『昭和の私を語ろう！』『みんなで地域を考えよう！』のテーマで自分の子ども時代をふりかえり、体験を書き出しました。



次に、地元や地域のよい所、今の子どもたちを見て思うこと、未来はこうあってほしいという思いを話し合いました。ゲームやグループでの話し合いを通して初対面の人ともコミュニケーションを取ることができました。この体験を地域活動に活かしていきたいと思っています。

(岩戸・原田 久美子)

☆アイスブレイキング  
動画集はこちらから



## 新任者研修会に参加して



4月25日・28日の両日、新任者研修会が開催されました。私は今年度より青少年育成推進員になり、初めての活動がこの研修会でした。

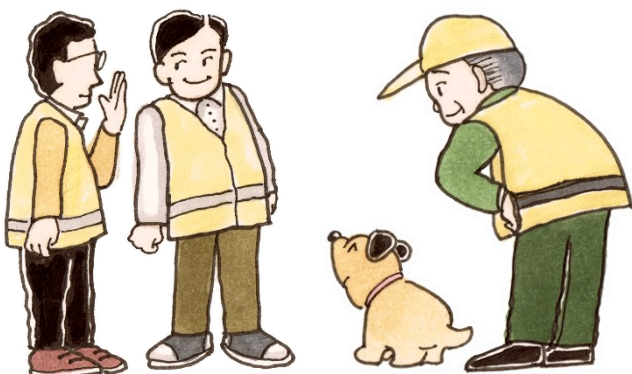
当日は市役所担当者や藤本会長より青少年育成推進員の位置づけと役割、同連絡協議会の組織についての説明があり青少年の健全育成にかかわる人がこんなにもたくさんいることを知りました。

続いて各部会長から説明があり、自身の部会へ参加を誘うべく各々趣向を凝らした資料を用意し分かりやすく丁寧に説明されていました。

すでに広報部会に所属することが決まっていた私は、部会の作業の概要やスケジュールを聞き、活動日の多さと未経験で慣れない校正作業に「自分には不向きかも」と感じましたが「楽しくやるのがいちばん」と思い

直しベテラン会員の指導のもと自分のできることを気張らず行い青少年健全育成に少しでも協力できればいいと思っています。

(長沢・杉浦 猛)



## 自転車安全教室

5月16日、よく晴れた午前

中、大楠小学校グラウンドで自転車安全教室を行いました。横須賀警察署交通課と交通安全協会の方を講師に招き、小学生16名・保護者14名・スタッフ19名が参加しました。

はじめに体育館で座学、その後グラウンドで自分の自転車に乗って実地講習を受けました。4月より青切符制度が導入され自転車の乗り方に関心が高まる中、子どもだけでなく多くの大人も受講したほうが良いと感じる内容でした。

(大楠・根岸 一康)

## 第一回 長井のまちなかウォークラリー開催

5月16日、晴天に恵まれた長井海の手公園ソレイユの丘に、

13組35名の参加者と30名のスタッフが集まり【長井のまちなかウォークラリー】が初開催されました。

地域の活性化を考える中、横須賀市青少年育成推進員連絡協議会主催のウォークラリーが長井中学校区で開催されたことがきっかけとなり、今回のウォークラリー実施につながりました。対象は3歳以上の長井在住、

在勤の方。2名〜5名で作ったチーム対抗で行いました。途中で長井にちなんだクイズに答えながら、全チーム無事にゴールしました。タイムの速さを競うものではないので、参加した方全員がドキドキしながらの結果発表となりました。

「楽しかった」と笑顔で感想を伝えてくれた参加者の方々に背中を押してもらい、今回の反省点を改善し、細く長く続くイベントにしていきたいと考えて

います。当面は長井限定での実施ですが、ゆくゆくは西地区、市内へと参加者を広げていきたいです。

(長井・古河 麻弥)



## 通学路安全北中ウォークラリー〜AEDマップづくり〜

6月12日北下浦中学校において、青少年育成推進員4名による「通学路安全北中ウォークラリー〜AEDマップづくり〜」を実施しました。

1、2年生129名が、縦割り班でAゼロサイズの地図を



囲み、自分たちの通学路を蛍光ペンでたどりながら、AED、公衆電話、ポストなどの位置をシールで確認しました。

地域の安全設備への関心を高める機会となり、アンケートでも「とてもよかった」「よかった」と好評でした。

(北下浦・三橋 きよみ)



## 非行防止街頭キャンペーン

7月11日、横須賀中央駅Yデッキで、不入斗・常葉・大津中学校区による非行防止街頭キャンペーンが行われました。今年は青少年育成推進員12名に加え、常葉中学校の生徒13名も参加。「あなたの気づきが、この街を良くしていきます。ご協力をお願いします」と呼びかけながら、中学生が描いた非行

防止ポスター入りのティッシュ約500個を配布しました。

蒸し暑い中、青少年育成推進員と生徒が協力して活動し、生徒からは「大変だったけれど早く終わった」「浴衣のお姉さんが受け取ってくれてうれしかった」などの感想が聞かれました。

大倉環境部会長は「皆さんの協力で25分で配布を終え、非行防止の意義を伝えられた」と話しました。また、中学生の参加は、餅つき大会や地域の祭りなどを通じて学校との交流を重ね、校長先生との信頼関係が深まったことがきっかけとのこと

です。学校との連携が実を結び、地域ぐるみで青少年を見守る活動の広がりを感じるキャンペーンとなりました。

(不入斗・木藤 ひろみ)





## 防災講話

5月29日に横須賀市立

大津中学校の1年生を対象に、総合学習の一環で、防災活動と備えについて、消防署員、市の危機管理課職員そして避難所運営委員でもある青少年育成推進員が講話を行いました。

中学生は熱心に聞き入り自分たちがいざというときに役立つようにと活発な質問があり、意気込みが感じられました。また、その後には講話を基に生徒たちがまとめたものを発表したことで感じたことは、とても完成度高くすばらしいものでした。



## 見守りパトロール

この総合学習を通じ、中学生との関わりができたことはとてもよいと感じました。  
(大津・遠藤 重美)

8月20日に行われた  
見守りパトロール

## みらいゼミ

8月4日ヴェルクよこすかにおいて、青少年社会環境健全化推進会議主催で、慶応義塾大学総合政策学部准教授石川光泰先生の「サイバー空間に潜む見えない落とし穴」と題した講演を聞きました。その後「海外と比べたSNS」「青少年の生成AIやSNSの上手な使い方について」「SNSを通じた青少年の犯罪対策について」この内一つのテーマについて、大学生を中心に中高生と大人を含め、1グループ7名で、6グループに分か

## INFORMATION

- ◎非行防止街頭キャンペーン：10月～11月9地区で開催
- ◎わんぱくフェスティバル：11月15日(日)10時～県立保健福祉大学
- ◎中学校対抗ウォークラリー：12月5日(土)9時～常葉中学校区内
- ◎活動体験発表会：2月13日(土)14時～青少年会館

れ、模造紙を使いプレゼンを行いました。決められたルールではなく自ら感じる危険を基に、「自分で作る規制」「親と子の話し合いやルール決め」「上手に付き合うために力を入れる啓発・教育の方向」を望む声が多かったように思います。



生徒たちとのディスカッションはとても楽しく時間が足りないと感じるほどでした。(育成・築山 真美)

## 編集後記

近年、親が子どもを傷つけた、少年が関わる詐欺事件が毎日のようにニュースに流れ、決して少年を取り巻く環境は良くありません。

私たち青少年育成推進員として何ができるのか。「活動記事を通じ育成とは」、について考えて取り組んで行きたいと思っています。  
(岩戸・飯田 功)

長男から「横須賀にゆかりのある小栗忠順がドラマになるね」と連絡がありました。「小栗上野介の話でしょ？」と次男に言うのと、「小栗忠順(おぐりただまさ)だよ」と一言。

「小栗上野介と小栗忠順って、兄弟？それとも親子？」と次男と話していると、長男から思いがけない答えが返ってきました。

## ゆうやけこやけ

ドラマで注目！横須賀ゆかりの小栗忠順

なるほど、そういうことだったのか、と家族みんなで納得。おかげで一つ賢くなりました。歴史上の人物は、名前なのか役職なのか分かりにくいことがあります。が、ちょっとした会話から新しいことを知るのも楽しいものです。

ドラマでは、見慣れた横須賀の景色が映る場合もあるかもしれませんが、そんな景色を見つけないで観ると、物語をより身近に感じられそうです。横須賀の歴史に思いを巡らせながら、ドラマを楽しむのはいかがでしょうか。

鴨居・川口 美里